

令和5年 第12回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和5年12月15日（金） 午後2時00分

2 招集場所 大河原町役場 2階 第1会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

櫻田尚 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、小野寺淳一 学校教育専門監

5 開 会 午後2時00分

6 令和5年第11回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

丹羽委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

報告第12号 令和5年第4回大河原町議会定例会（12月会議）の結果について

報告第13号 大河原町教育委員会教育委員の任命について

教育総務課長より説明。

(2) 専決事務報告

報告第4号 専決処分 of 報告について

(工事請負契約の変更 大河原中学校校舎裏屋外環境整備工事)

(令和5年度大河原町一般会計補正予算(第7号))

教育総務課長、生涯学習課長より説明。

8 議 事

議案第33号 大河原町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について
の点検及び評価について

生涯学習課長より生涯学習課関連部分説明。

丹羽委員 | 内部評価が厳しいのではないかと。だが、外部評価が高かったのはありがたい。

| | |
|----------|---|
| 舟山委員 | 総合体育館の改修工事はいつ完了するのか。 |
| 木村生涯学習課長 | スポーツまちづくり推進課で現在工事を行っている。工期までは把握していないが、アリーナ内で工事の足場が作れないので、外側に足場を設置して工事を行っている状況である。 |
| 鈴木教育長 | 来年度については、関係部分が学校体育部分のみとなる。 |

教育総務課長より教育総務課関連部分説明。

| | |
|----------|---|
| 一盃森委員 | 先生方の働き方改革。学校運営協議会の中でPTA、地域の皆さんと連携して、学校だけで行ってきたことを再検討する。役割を明確にしていく取り組みを、協議会の話題にあげていただき改善を図っていく方向性の方が良い。ICTの活用。学校間で格差があるのはなぜか。先生方には有効に活用していただけるような環境の整備は十分に出来ていると思う。研修の機会が少ないのであれば、苦手な先生方だけでもよいので重点的に研修をやっていただく必要がある。 |
| 小野寺専門監 | GIGA スクール推進会議内で情報担当先生と話をした。小学校での使用率が低い状況。授業での活用イメージが沸かないとの意見も出た。熊本市でICTの活用カレンダーを作成しており、本町も、場面や学年に応じた活用方法を考えており、基本形を示して学校間格差を是正していく考え。 |
| 一盃森委員 | 学校ごとに格差があるのがよくない。ぜひ活用してほしい。 |
| 丹羽委員 | インフルエンザによる学級閉鎖も多いので、ICTの活用をしてほしい。不登校関係について、担任の先生方が多忙で対応が大変である。 |
| 小山委員 | 不登校の子どもを持つ親の交流会を年5回とあるが、保護者の参加はどのくらいあったのか。 |
| 櫻田教育総務課長 | 周知はしているが、毎回の参加は3名から5名である。参加者からは肯定的な評価をいただいている状況である。 |
| 舟山委員 | 学力の評価がA。先生方の努力が認められ評価いただき良かった。 |
| 鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。 |

9 その他

(1) 教育長報告(校長会資料による報告)

1 「瓜作るより土作れ」(荘司貴喜)

魅力ある人間となるために自分を磨き、より良い授業づくりのために研鑽を積み、指導力の向上に努めよ。子供のために進めと説く。普段の授業が大事である。

2 スポーツ関連

(1) スポーツ少年少女をダメにする親とは (吉田麻也)

(2) 「王&栗山が紐解く究極の本塁打論」

保護者がサッカーの試合を観にきて、審判への文句や選手への指示を与える行為はよくないことで、選手が萎縮したり答えを言われると気がなかつたりするという。小さい時から自分で考える力を身に付けさせることが大切である。

3 『スマホ依存が脳を傷つける』(川島隆太)

著書の中で、「スマホ依存傾向の子は、他者との共感性が低く攻撃性が高い、授業中にウロウロするなどの症状が見られる」「スマホを使っているときは脳は働いていない」「スマホをいじりながらの子育ては愛着形成に影響をもたらす」など、いかに子供の脳に悪影響かを説いている。

「明日青のつどい」でもスマホ等の影響について、講演いただく。多くの方々が参加し大事な情報を共有していきたい。

4 教員の働き方改革

(1) 宮城県・大河原町の小・中学校別時間外勤務の状況

(2) 「こどもアンケート調査」(宮教委)

(3) 学校及び教師が担う業務の明確化・適正化(文科省)

(4) 業務3分類への対応例を読解する(渡辺研)

本町での時間外勤務80時間を超える状況は改善してきている。

アンケート調査では、小学校と中学校の考えが違ってきているので、教師は、どんな授業や行事をつくっていけばよいかを本気で考えなければならない。

「学校及び教師が担う業務の明確化・適正化」について、業務が3分類化され、働き方改革の指標となるもの。町教委としてできるものはすべて進めている。しかし、実施するにあたり地域やPTAの理解を得るのが難しく時間がかかるものについては、ひとつずつ進めていくことが大切。

5 教員の長時間勤務解消へ(中嶋哲彦)

中嶋教授の「義務標準法の改正」は、まさに教員を増員するための算出根拠を見事に示している。教育課程のスリム化について、年間80時間程減じれば、放課後の時間が確保でき、ゆとりを持って仕事ができるのではないかと考えている。

6 「新規の発問と問え返し発問」(盛山隆雄)

「問い返し発問」は、子どもの呟き、発言、動作、記述などの様々な表現に対して、その意味や根拠、よさを問う発問である。授業を展開していく上で参考になる。

7 「評価」を指導や学習に生かす（石井英真）

本町では、学力向上の取組の2本柱のひとつ、『学習評価』を生かしたPDCAサイクルの確立に関連し、指導と評価の一体化を図る『年間評価計画』の活用を挙げている。評価とは何か、先生方で読み合わせしていただきたい。

8 クラウドの活用：MEXGBT（メクビット）の活用

単元の終末や家庭学習等で活用できるので、先生方に周知していただきたい。

9 その他

各校の授業、研修会、大会、事業の様子について資料により説明。

| | |
|-------|--|
| 舟山委員 | 教育課程のスリム化。年間標準時数を減らす考え方に大変共感した。ぜひ、この考えをいろいろな場面で広めてもらいたい。文部科学省の方々に届くように。外国では、年間の授業時数はどのくらいなのか。午前中くらいか。日本も外国と同じようにすれば良い。日本の先生方が頑張りすぎる。 |
| 一盃森委員 | 教員数の確保について、まったく同感である。義務標準法を変えない限り改善されない。加配について、全国での加配人数から宮城県の人数を予定したときに、1人くらい増えると予想するが、別の形で消えてしまう。文科省としては、考えていると思うが、現場の忙しさを解消するとしたら法を改善するところまでできていると思う。 盛山先生の問い返しの発問の話。先生方が問い返しをする場面が目につく。とても良いことと思う。私も、子どもが分かるようになっていく過程で、どうしてそのように思ったかをよく聞いていた。 現職の先生方には、ゴールを目指して子どもとやり取りをするので、発問だけではない。子どもたちがその時間で何を学ぶかを忘れてはいけない。 |
| 丹羽委員 | 教員の加配の話。大河原町に教育基金などがあれば良いと思う。 対話的な学び。先生の言葉が通じない場合がある。だからこそ、子ども同士で分かるまで、相手の分かる言葉で話し合い、理解できるようになる。現在の学力向上などに繋がっている。 その道の達人の知識・知恵や工夫を子どもたちに活かせるのが大事。先生方、それぞれ資質が違うが、自分の能力で大丈夫。しかし、余裕がないとだめである。 町教委は、先生方に余裕を持たせ、子どもたち一人一人にどんな指導が必要か、どのように寄り添えば良いのかを先生方はよく観察して、子どもたちの言葉を聞いて分かる工夫が必要である。 |
| 小山委員 | 川島先生のスマホ依存が脳を傷つける話。先日、ボランティアをしている時に小学5・6年生と話をした。家に帰ったら何をするのかを訪ねると、早く |

| | |
|-------|--|
| | <p>帰って SNS を見たいと言う。確かに、様々な情報が入ってきて、やめれなくなる。自分からやめるように、周りが働きかけてあげないといけない。使い過ぎは良くない。</p> <p>P19 授業以外の先生方の業務。こんなにも沢山の事をやっているのを改めて思った。もっと子供との時間を作ってほしい。ボランティアなどお願いして、先生方の負担軽減ができれば良いと思う。</p> |
| 舟山委員 | 働き方改革。美術の先生が言っていた。何でもポスター作成依頼があって、計画した授業ができない。教育委員会でも少し考えてもよいと思った。 |
| 一盃森委員 | 石井先生の評価の事。指導と評価の一体化。通信表の所見を書くエビデンスにしてほしいと思った。 |

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和5年度行事予定について説明。

小野寺専門監より児童生徒学習意識等調査について説明

| | |
|-------|--|
| 舟山委員 | 毎朝見守り隊で交通指導をしている時、赤信号なのに渡る子がいた。注意し、理由を尋ねたら、「学校が楽しく早く学校に行きたい」という。とても微笑ましく思った。 |
| 一盃森委員 | 選挙管理委員会の出前授業で大河原中学校に行った。とても生徒が、メモを取ったりしていてすばらしい。下駄箱の靴もきれいに整理されていた。落ち着いて勉強ができていると感じた。 |
| 丹羽委員 | 金ヶ瀬中学校の結果を見て、スマホの影響が出ていると感じた。 |

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和6年1月18日(木)午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時00分

令和6年1月18日

署名委員

署名委員